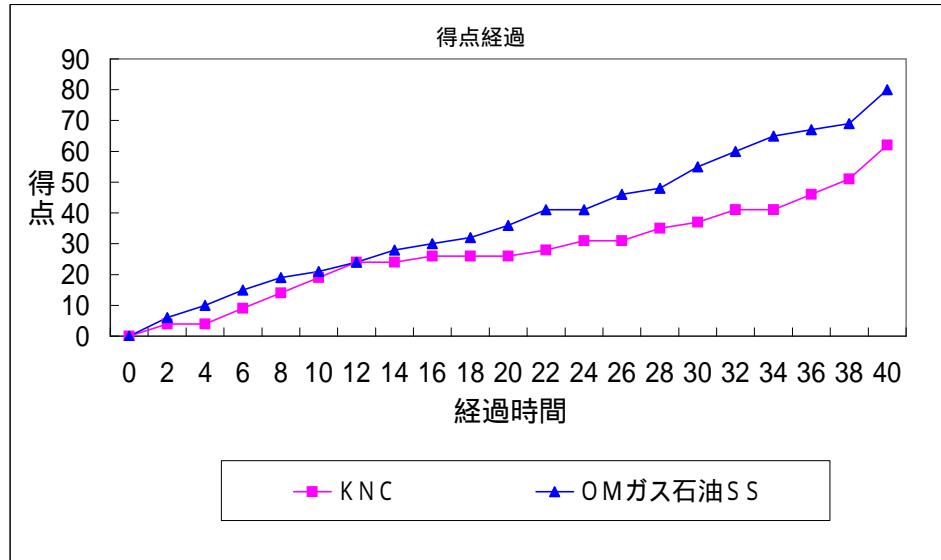


第36回全日本クラブバスケットボール選手権大会

競技結果													
石川県 K N C	62	19	-	21	沖縄県 80 OMガス石油SS	期日	2010年3月22日						
		7	-	15		試合	女子準決勝 9:30						
		11	-	19		会場	あづま総合体育館						
		25	-	25		主審	鈴木 弘美						
						副審	河野 仁						
都道府県	3	石川県				都道府県	16	沖縄県					
チーム名	K N C					チーム名	OMガス石油SS						
責任者	小林 正三					責任者	吳屋 健						
コーチ	小林 建斗					コーチ	日越 延利						
A・コーチ	小林 拓馬					A・コーチ	吳屋菜美子						
マネジャー	横川 茉美					マネジャー	長嶺 麻衣						
選手名	背番号	得点	3P	2P	FT	PF	選手名	背番号	得点	3P	2P	FT	PF
辻 はるか	4						吳屋菜美子	4	14		3	8	
辻 のどか	5						西兼盛しの	5	8	2	1		4
横川 茉美	6						金城 智愛	6	0				1
西川由紀子	7	16	3	3	1	2	宮城ちづる	7	6	1	1	1	2
長谷川美和	8	0				4	宮城 紗乃	8	2			2	1
高道 茜	9	2		1		3	安森友梨奈	9					
石田 桂子	10						喜納由美子	10	2		1		3
福島 幸子	11	18		8	2	4	仲村 果林	11					
若林 淳子	12						山城 玲奈	13	1			1	
西野日菜子	13	1			1	1	當銘 政子	14	20	4	3	2	1
辻 景子	14	2		1		1	宮城 美樹	15	27		12	3	3
尾田 佳美	15	23	4	3	5	5							
伊藤 沙希	16												
合計		62	7	16	9	20	合計		80	7	21	17	15



戰評

KNC、OMガス石油SSとともにマンツーマンでスタート。KNCは、インサイド、アウトサイドをバランスよく攻める。一方、OMガスは、西兼盛を中心にスピードある展開を繰り広げる。OMガスは、宮城の12得点の活躍により、第1ピリオド21-19とリードする。

第2ピリオド、KNCは、西川の3Pで対抗するモリズムに乗れず、残5分KNC 24 - 300Mガスでタイムアウト。その後KNC 福島のカットインで加点するが、KNC 26 - 360Mガスで終了。

第3ピリオド、KNCは2-3ゾーンで流れを変えようとするが、0Mガス 宮城のジャンプシュート、當銘の3Pで点差を広げる。KNC 福島のシュートで追い上げるも0Mガスは、確実にボールを展開し、37-550Mガス18点リードで終わる。

第4ピリオド、KNCは福島の速攻、尾田の3Pと徐々にリズムをつかむが、0Mガスの速い展開と落ち着いたゾーンアタックで点差を縮めることができない。終盤0Mガスは、連続11本のフリーホローで得点し、ゲームを決めた。

この試合、審判の手堅いタモリ監督が随所にみられたが、スピード、シュート力に

この試合、実力アーティスト同士の緊張したマッチが随所に見られたが、スピーチ、ショット力に優る0Mガス石油SSが決勝進出を決めた。

『文貞 渡邊指也』